



# 【令和4年度 第1回即応態勢点検】

令和5年4月3日

自衛隊札幌病院（病院長 川口陸将）は、令和6年4月19日（金）『令和6年度第1回即応態勢点検』を実施し、病院勤務員、特に当直及び医療支援隊救護班の初動にかかる即応状況を確認し、各種事態発生時の即応態勢の実効性向上を図った。

部隊当直司令は、『釧路沖を震源とする最大震度7の地震が発生』の状況付与を受け、速やかに非常呼集を開始した。残留営内隊員が災害派遣倉庫等から携行資材を搬出し、資材搬入口において集積・準備を行った。准看学生は、集合完了後に、施設等の状況確認及び各倉庫からの資材搬出等の支援を行った。その後、救護班の要員が到着し、携行資材の点検、人員・装備の確認を実施し、車両積載までを完了させ、派遣準備完了を統裁官（病院長）へ報告した。

統裁官（病院長）は、『一昨日も四国地域での大きな地震があったばかりである。救護班要員は、常に緊張感を持って引き続き実施せよ』と訓示し、状況終了とした。

本点検においては、北部方面衛生隊から人員及び救急車の支援を受けて、医療支援隊救護班としての連携要領を確認し、目的を達成することができた。



電話呼集



指示を受ける准看学生



資材積載



統裁官訓示